

# HITO NEWS

H I T O  
M E D I C A L  
C E N T E R  
N E W S

2014.10

No.05

はじめに

新任医師紹介

シリーズ：4疾病をよく知ろう

第六回「がん」

専門外来特集

TOPICS



# はじめに

## 地域包括ケア病棟 開床

9月より、6階病棟35床にて「地域包括ケア病棟」として運用をはじめました。  
地域包括ケア病棟とは、急性期医療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さまに対し、在宅復帰に向けて医療管理、看護、リハビリを行うことを目的とした病棟です。

## 医師の体制強化

10月1日から、内科常勤医師2名、臨床研修医1名が入職となりました。内科一般の診療、糖尿病の分野において、体制強化いたします。

## 日経ニューオフィス賞受賞

先般、「第27回日経ニューオフィス賞」において、当院が「四国経済産業局長賞」を受賞しました。

「日経ニューオフィス賞」とは、働く人が物心両面において考慮・工夫された職場環境であるかどうかの審査を行う賞です。  
患者さまやそのご家族はもちろん、働く職員にとっても快適に感じられるような病院になるよう、引き続き努めてまいります。



四国経済産業局長より賞状授与

# 新任医師紹介



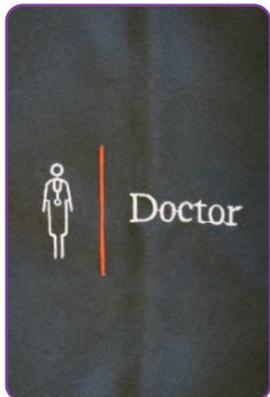
内科 医師  
ひさ しんすけ  
久 伸輔

専門分野—介護（ケア）から治療（キユア）まで含めた総合医療かつ全人的医療を自分の専門としたいと思っています。  
出身大学—高知大学医学部  
卒業年度—平成4年卒業  
モットー—決意と継続が全てのもと。人から笑われなくても、自分を笑い飛ばしてなんぼ！  
患者さまへひとこと—自分ができることを全開にして、皆さまのお役に立てますよう尽力したいと思います。また皆さまが治療の主役になれますよう尽力したいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



内科 医師  
たにわき ひろみち  
谷 脇 広道

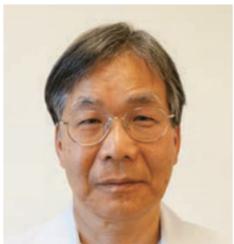
専門分野—糖尿病  
専門医、認定医など—日本内科学会認定医、日本内科学会（認定）専門医、認定産業医  
所属学会—日本内科学会、日本糖尿病学会、日本透析医学会  
出身大学—高知大学医学部  
卒業年度—平成5年卒業  
患者さまへひとこと—ともに治療をがんばりましょう。



## 第6回 がん

# シリーズ 4 疾病についてよく知ろう

- がん
- 脳卒中
- 急性心筋梗塞
- 糖尿病



外科 部長

きやす よしと  
喜安 佳人

## 【当院のがんへの取り組み】

悪性新生物（がん）は、愛媛県の死亡要因の第1位を占めています。当院は、愛媛県より「がん診療連携推進病院」の指定を受けており、「がん相談支援センター」を設置するなど、がんへの取り組みを強化しています。  
がん治療においては、がん患者さまのために病院全体で考え、院外の施設とも連携し、より良い治療を提供できることを基本姿勢として取り組み、病院全体で患者さまを支えます。  
模式図にあるように、患者さま

の治療を進めるにあたり、「がん症例検討カンファレンス」を実施し、患者さま一人一人の病種や病状を加味し、多職種でそれぞれ担当を決めて、治療方針や計画を検討します。  
その上で、患者さまと相談し、

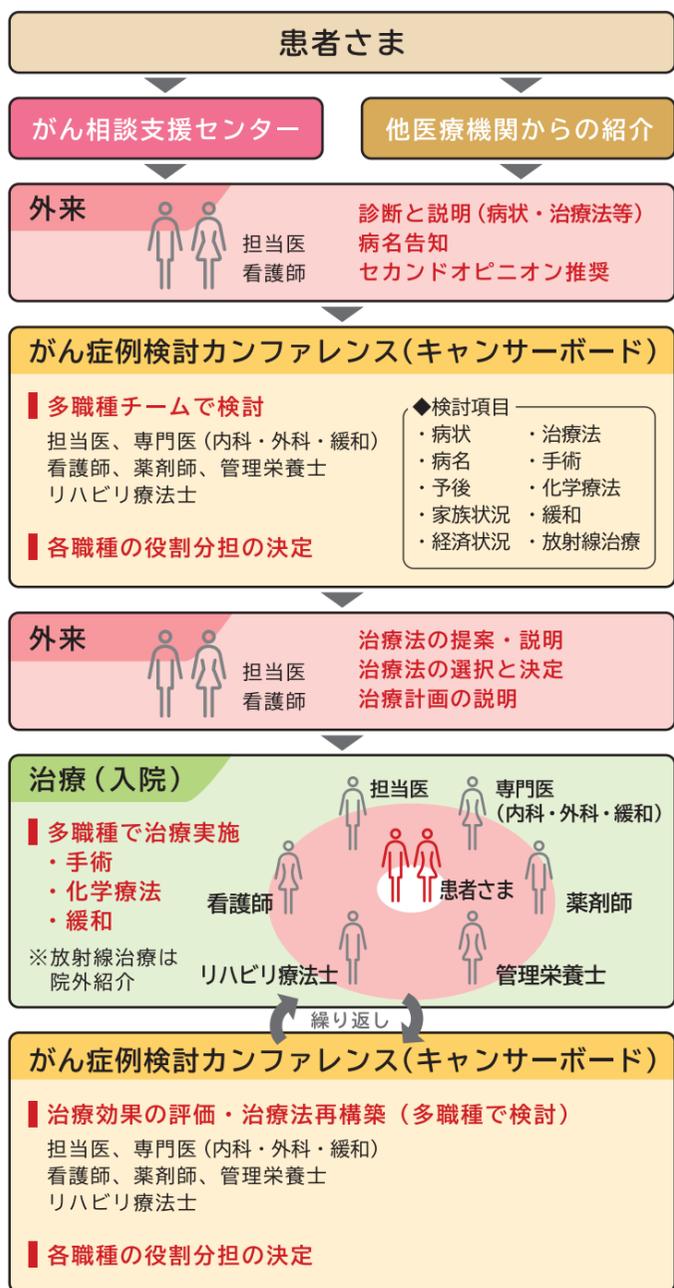
患者さまが納得のいく治療計画を決めていきます。  
そして、その治療計画について、治療効果の評価や治療法の再構築も含めて、病院全体で入念な検討を行っていきます。

## 【チーム医療の重要性】

がんの診療がますます高度化、専門分化する中で、チーム医療の重要性が拡大しています。  
例えば、薬剤師では、薬の専門家としてだけでなく、リスクマ

ネジメントの観点からも、重要な役割を果たします。がん薬物療法などで、その特性を理解し、より深い知識、高度な技術などを兼ね備えた上で、化学療法のレジメンなどを管理・提案し、患者さまのモニタリングと指導を行わうことができます。  
すなわち、チーム医療で専門職種が加わることにより、患者さまの安全をしっかりと確保し、より安心と満足が得られる質の高い医療が提供できます。

## HITO 病院のがん診療の模式図

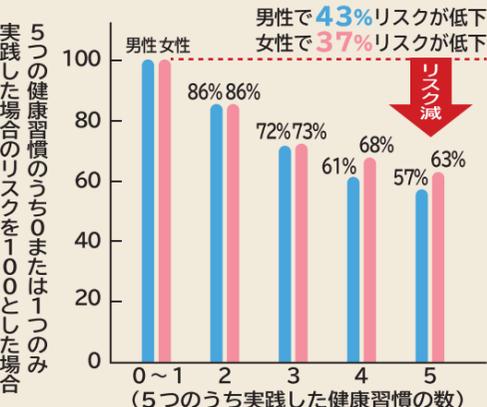


がんの予防について

がんの予防において、国立がん研究センターをはじめとする研究グループが、「日本人のためのがん予防法」を定めており、がんになる原因のうち、「感染」以外は日頃の生活習慣に関わるものです。

これから紹介する5つの健康習慣を実践することで、がんになる確率を低くしていくことが可能と考えられています。

5つの健康習慣とは、  
①禁煙：たばこを吸う人は吸わない人に比べて、がんになる



スクが約1.5倍高まることもわかっています。禁煙は、ひとりでもせずつた禁煙プログラムなどもあるため、専門医に相談することが近道です。(↓P7禁煙専門外来へ)  
②食生活：「減塩」、「野菜と果物の摂取」、「熱い飲み物や食べ物は少し冷ましてからとる」という3つのポイントを守ることで、胃がん、食道がんのリスクが低くなります。減塩は、1日の食塩摂取量を男性は9g未満、女性は7.5g未満が推奨です。だしは、かつおなどの素材から取り、減塩みそを活用。料理は、香味野菜を活用し、加工品を避けましょう。

③節酒：左記が目安となります。  
●日本酒：1合  
●ビール：大瓶(633ml) 1本  
●焼酎・泡盛：原液で1合の2/3  
●ウイスキー・ブランデー：ダブル1杯  
●ワイン：ボトル1/3程度

④身体を動かす：厚生労働省より推奨する身体活動基準は、「18歳から64歳の成人」歩行またはそれと同等以上の強度の身体活動を毎日60分行うこと、それに加え、息がはずみ、汗をかく程度の運動を毎週60分程度行うこと  
「65歳以上の成人」強度を問わず、身体活動を毎日40分行うこと  
⑤適正体重の維持：男性の場合、肥満度の指標であるBMI値21〜26.9でがんのリスクが低く、女性は19〜24.9で死亡のリスクが低いことが示されています。

自分のBMI値を計ってみよう

$$\text{BMI値} = \frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}}$$

例) 身長165cm 体重60kgの場合  
60(kg) ÷ [1.65(m) × 1.65(m)] = 22.0

男性：21.0 ~ 26.9  
女性：19.0 ~ 24.9



外科 非常勤医師  
愛媛大学医学部附属病院 副院長  
消化管・腫瘍外科学 教授  
わたなべ ゆうじ  
渡部 祐司

HITO病院でがんの低侵襲治療が受けられます

身体に負担の少ない低侵襲治療

まず「侵襲」とは、医学用語で体に有害となる可能性のある医療行為とその程度を指します。「がんの低侵襲治療」とは、がん治療において患者さまへの負担が少ない治療法のことを言います。

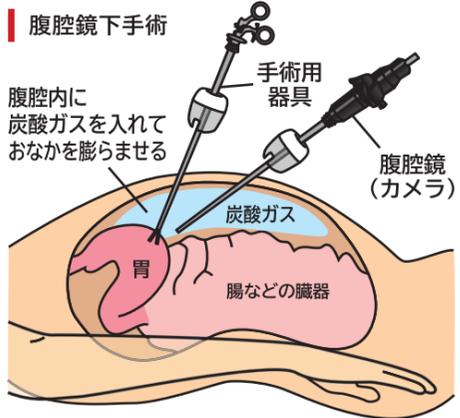
HITO病院で可能な低侵襲治療

HITO病院では、愛媛大学医学部附属病院 消化器外科の協力のもと、低侵襲外科治療として、腹腔鏡下切除術(胃、大腸)が可能です。

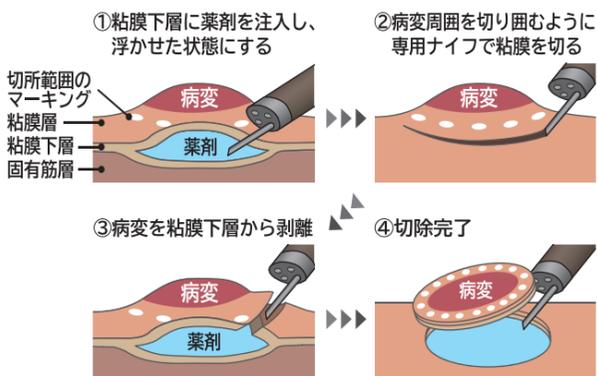
腹腔鏡下手術とは、おなか(腹腔内)を炭酸ガスで膨らませて、カメラ(腹腔鏡)を挿入し、おなかの数ヶ所を5〜10mm切り、そこから手術用の器具を挿入して行う手術です。術後の痛みが少ないため、入院期間が短く、社会復帰が早いのが特徴です。

また、その他にも胃がん、大腸がんの内視鏡下手術が可能です。

粘膜下層切開剥離術(ESD)：がん



膜下層切開剥離術(ESD)の手技



の病変周囲の粘膜だけを切除し、粘膜下層以深を残させる方法で、高率に病変を一括切除でき、高い根治が期待できます。  
内視鏡的ポリープ切除術(EMR)：粘膜下層に生理食塩液の層があるため、大きく切除しても、安全な方法となります。  
ESD、EMR、どちらも腺腫性ポリープや転移病巣がないと推定される早期癌が対象のため、早めの健診をお勧めします。ESDでは治療できない胃がん、大腸がん患者さまには、前述の腹腔鏡下胃、大腸切除術を施行しております。

HITO病院で可能ながんの低侵襲治療

- ◆腹腔鏡下手術
    - ・腹腔鏡下切除術(胃、結腸、直腸) など
  - ◆胃がん、大腸がんの内視鏡下手術
    - ・粘膜下層切開剥離術(ESD) ・ステント留置術
    - ・内視鏡的ポリープ切除術(EMR) など
  - ◆IVR
    - ・動脈塞栓術(TAE) ・ラジオ波熱凝固術 など
- ※代表的なものを列挙しております。病状に合わせた最適な治療方法を選定しますので、一度ご相談ください。

	手術	化学療法	緩和医療	放射線治療(放射線化学療法含む)
消化器系	食道がん	他院へ紹介	○	他院へ紹介
	胃がん	○(腹腔鏡手術は大学医師の応援)	○	
	小腸がん	○(腹腔鏡手術は大学医師の応援)	他院へ紹介	
	大腸がん	○(腹腔鏡手術は大学医師の応援)	○	
	肝臓がん	△(術式により他院へ紹介)	○	
	胆道がん	△(術式により他院へ紹介)	○	
乳がん	膵臓がん	○(大学医師の応援)	○	
	乳がん	△(センチネルリンパ節生検などは他院へ紹介)	○	
血液疾患、頭頸部、小児	他院へ紹介	他院へ紹介		
上記以外	他院へ紹介	要相談(保険適応外や、施設限定で使えない薬剤は不可)		

当院で提供可能ながん医療



外科(がん薬物療法) 部長  
化学療法室 室長

井上 直也  
いのうえ なおや

外来化学療法とその対象の患者さま

外来化学療法の利点は、患者さまが病院にいる時間が短いことです。慣れない制限のある入院生活ではなく、点滴の時間以外は慣れ親しんだ自宅で生活ができます。うまく副作用がコントロールされれば仕事や趣味を続けることも可能です。

化学療法を受けられる患者さまの中で、左記のような条件に合う方が対象です。

- (1) 入院を必要とするような副作用や、長時間の点滴がない治療であること
- (2) 副作用対処が自宅で行えること
- (3) 通院が可能であること

などです。ご本人・ご家族と医師、看護師、薬剤師などで相談し、

検討させていただきます。外来化学療法を受けていただく前に、看護師・薬剤師から具体的な注意点について説明させていただきます。

当院の化学療法室の特徴

- ・ベッド4床、リクライニングシート1脚を備え、各ベッド・シートにはテレビを設置しており、リラクセスして治療を受けていただけます。

予約外受診の目安

左記のような症状があれば、予約外でも受診をしてください。その他、判断できない症状があれば、まずは電話でご相談ください。

予約外受診の目安

- 38度以上の発熱が続く
  - 1日5回以上の下痢
  - 吐き気や嘔吐が続き、食事が取れない
  - 口内炎がひどく食事が取れない
  - 日常生活に必要な活動ができない
- このような症状があれば、無理をせず電話でご相談ください

電話：0896-58-2222  
「外来で化学療法を受けている〇〇です」とお伝えください。



緩和ケア内科 部長

佐々木 宏起  
ささき ひろき

緩和ケア内科とその対象の患者さま

緩和ケアとは、患者さまとその家族に対して、痛みや身体的問題、心理・社会的問題、スピリチュアルな問題に的確なアクセスメントと対処(治療・処置)を行い、患者さまが家にいる時と同じようにそのひとらしさを大切にしながら、生活できる場所を提供し、ご家族も含めてチームで支える診療科です。

緩和ケア病棟の対象者は、

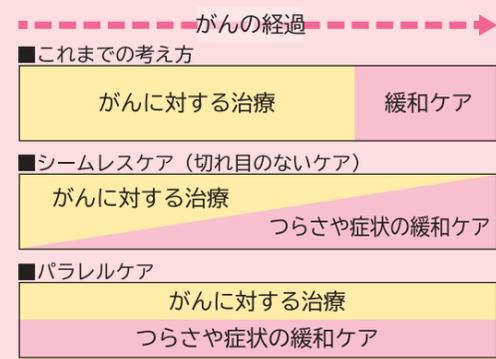
- ・悪性腫瘍(癌・肉腫・白血病)やHIVの患者で、病気の治療が出来ないか希望しない方(海外では神経難病なども対象となる場合があります。)
- ・痛みなどの苦痛症状の治療が必要な方

・本人やご家族の方が病状や緩和ケアについて理解した上で入院を希望する方  
※告知の有無や認知症の有無など、入院条件は各施設により異なります。

がん治療と緩和ケアの関係

がん治療と緩和ケアの関係における新しい考え方で、切れ目のないケアを行っていく『シームレスケア』やがんの治療も同時に行っていく『パラレルケア』があります。患者さまの有意義な生活のために、取り入れながら支えていきます。

がんの治療と緩和ケアの関係



がんを語り合うがんサロンの開催

当院では、がんサロンを定期的に開催しています。

がんサロンは、がん患者さまとご家族の方々が集い、いろいろな話をして交流する会です。医師や医療スタッフとの情報交換やアドバイスなどもあります。

お問い合わせ：サポートセンター  
電話(0896)29-5320

セカンドオピニオンのご案内

セカンドオピニオンとは、現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。当院から他院へ、他院から当院へ、どちらも可能となっております。

当院での費用：5,400円  
※健康保険適用外です。

お問い合わせ：地域医療介護連携課  
電話(0896)29-5729

その他詳細は、ホームページへ



当院は、愛媛県より「がん診療連携推進病院」として指定を受けております。



がんと向き合う  
がんを支える

がん相談支援センターを設置しております

当院では、がんで悩んでいる患者さまやご家族の方などを支えるために「がん相談支援センター」を設置しております。

病院内1階のサポートセンターに相談窓口があります。初診から患者さまの病状説明に付き添い、治療単位ではなく最期までの人生を通して医療的・社会的・心理的にがん診療チームが支援いたします。患者さまやご家族のほか、地域の方どなたでもご利用いただけます。

がん相談支援センター  
(サポートセンター内)  
電話(0896)29-5320  
FAX(0896)58-5350

がん診療チーム

2011年に設置された「がん診療チーム」は2014年現在、複数科の医師、看護師(外来、

入院、訪問)、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、臨床検査技師、診療情報管理士、医療クラークなどと構成され、緩和ケアチームと共に日々活動を行っています。週1回開催のキャンサーボード(がん症例検討カンファレンス)で、がん症例の治療方針検討を行い、手術や化学療法などの積極的治療だけでなく、患者サポート、緩和医療に至るまでの方針を議論しています。2014年度より、がん治療認定医養成に準じたカリキュラムで勉強会を行い、スタッフのがん医療の知識向上に努め、がん化学療法法の臨床試験に参加できる体制を整備しました。高度な医療については、愛媛大学医学部附属病院、四国がんセンター、住友兄弟病院、三豊総合病院などと連携して実施しますが、当院が地域で提供できる治療、医療サービスを通じて、切れ目のないがん医療を宇摩圏域で提供するように努めていきます。

## 専門外来一覧

### 糖尿病 糖尿病合併症専門外来

糖尿病療養中の方に対し検査を行い、糖尿病合併症の早期発見・治療につなげます。特に動脈硬化性病変（心筋梗塞や脳卒中など動脈硬化によって発生する病変）を早期発見するために、頭部MRIや冠動脈CTなどの精査を行います。お気軽にご相談いただき、一緒に合併症を予防していきましょう。

- 毎週火・金曜日 10時～15時
- 内科医長 扇喜 真紀 医師

### がん 消化器がん化学療法専門外来

消化器がんに関する化学療法のご依頼やご相談をしたい方、化学療法に関する治療方針や、副作用対策でお悩みの方はお気軽にご相談ください。



- 毎週水曜日 13時～15時
- 外科(がん薬物療法)部長 井上 直也 医師

### 睡眠 睡眠時無呼吸スクリーニング専門外来

ある程度の時間睡眠をとっていても昼間に居眠りをしたり、強い眠気を感じる方。また、配偶者からいびきがひどい、あるいは夜間に呼吸が止まっていることがあるといわれている方などは、事故防止や快適な日常生活を過ごすために、お気軽にご相談ください。

- 毎週水曜日 13時30分～14時30分
- 循環器内科部長 伊藤 彰 医師

### 禁煙 禁煙専門外来

咳・痰・息切れが気になる方、喘息があるけれど喫煙をされている方、高血圧や糖尿病、高脂血症の方、これを機に禁煙して健康な生活を送りましょう。

- 毎週火・水・木曜日※14時～17時
- 副院長・外来医長 田中 伸二 医師
- 毎週水曜日 10時～12時
- 副外来医長 佐藤 元通 医師

※第1火曜日、木曜日の半日診療日は除く



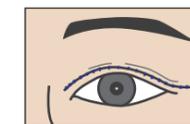
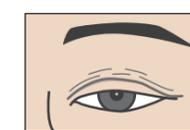
### 関節 関節専門外来

関節(肩、肘、股関節、膝、足関節など)の痛みや稼働域にお悩みの方はご相談ください。人工関節は、股関節と膝関節を中心に行い、肘と肩も対応しています。肘と肩、膝、足関節は、関節鏡視下の治療も行っています。また、前十字靭帯損傷や肩関節脱臼、股関節唇損傷や肘離断性骨軟骨炎などのスポーツ障害に対する治療も行います。

- 毎週水曜日 8時30分～12時
- 整形外科部長 間島 直彦 医師

### 皮膚 皮膚がん・皮膚のアンチエイジング・眼瞼下垂 専門外来

皮膚がんの心配のある方、農作業等で良く日焼けされる方、しみ・シワ・たるみの気になる方、まぶたが下がって見えにくくなってきたなどの症状がある方はご相談ください。



- 毎週火曜日 10時～12時
- 形成外科部長 中西 秀樹 医師

### 脊椎 脊椎専門外来

首・背中・腰の痛み、手足のしびれ・痛み、手足の動かしにくさ、歩きにくさなどでお悩みの方が対象です。診察による身体所見に加えレントゲンやCT、MRIなどで診断を行います。脊椎疾患の主な治療には内服薬、ブロック療法、装具療法、手術療法などがあります。状態に応じて治療法を選択します。

- 毎週木曜日 13時～15時 ※半日診療日は除く
- 整形外科医長 山岡 豪大朗 医師

### キズ 創傷専門外来

傷ができてなかなか治らない。ちょっとした傷なので大丈夫だと思っていたら次第に悪化してきた。そのような方を対象としています。治りにくい傷は、糖尿病や動脈硬化疾患などを合併していることがあり、内科や循環器内科などと連携して治療を進めてまいります。また、在宅で褥瘡・創傷のケアで悩んでいる方もお気軽にご相談ください。

- 毎週木曜日 8時30分～12時
- 形成外科医長 米田 武史 医師

## 登録医のご紹介

地域を守るお医者さん

### 登録医制度とは

地域医療の充実と効率的な医療供給体制確立のために、地域の医療機関との適切な役割分担と業務連携を推進するために「登録医制度」を制定しました。これにより、他院からの紹介や当院からの逆紹介の連携強化が図れ、より良い医療を患者さまに提供することができます。

インタ View

### 福田 保 先生



ふくだ たもつ 福田 保 先生

専門領域・消化器内科  
 専門医・認定医・日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医  
 医院の売りとは？…有床診療で



四国中央市下柏町435  
 電話 0896-23-2188  
 診療科目/内科、消化器科、小児科、循環器科  
 診療日時/月～土9時～12時  
 月～金13時～18時  
 ※火は正午まで、土は午後13時まで  
 (受付8:30～11:30、13:30～16:30)

入院が可能です。HITO病院との連携で望まれること…HITO病院に小児科ができれば、助かります。HITO病院とのやりとりでどのようなメリットがありましたか？…循環器で緊急の場合(完全房室ブロックでペースメーカーが必要な時など)にHITO病院の循環器内科ができてから対応していただいていたかっています。診療モットー…「いつも笑顔で、やさしく」です。患者さまへひとこと…これからも地元で密着してやっていきます。

インタ View

### 四国中央市国民健康保険新宮診療所



とよた たかし 豊田 高志 先生

専門領域：37年間眼科医でしたが、2年前にやめました。専門医・認定医：以前は眼科専門医でしたが、現在はありませ

ん。医院の売りとは？：新宮地区は高齢の方が多く、車に乗れない方や交通機関が利用できない方に対してでも対応ができることです。たとえば処方とかですね。HITO病院との連携で望まれること：新宮診療所には病床がない為、判断に苦慮しているのですが、急性期治療が必要で、なおかつ入院が必要な方の受け入れをスムーズにしていただければと思います。HITO病院とのやりとりでどのようなメリットがありましたか？：急性期治療の必要な方を



四国中央市新宮町新宮50番地  
 電話 0896-72-2131  
 診療科目/内科  
 診療日時/月・火・木・金8:30～17:15  
 (受付8:30～11:30、13:30～16:30)  
 月に1～2回水曜日に松山県立病院の医師が来院し、内視鏡や超音波なども可能。

か？：急性期治療の必要な方を受け入れていただけることです。また、HITO病院は新宮から降りてすぐの場所にあり、近いので紹介しやすいです。昨年、旧石川病院からHITO病院に変わられたばかりのときは、場所が分からない患者さまもおられました。2年目に入られて場所がお分かりの方が増えてきています。診療モットー：新宮地区の方々を新宮診療所で診れるようにすることです。患者さまへひとこと：これからも一生懸命勉強し、患者さまのお役になれたらと思います。

【第7回医療連携講演会】

平成26年7月30日、「第7回医療連携講演会」を開催しました。外科部長の喜安 佳人先生が「がんの外科的治療」を、消化器内科医長の扇喜 智寛先生が「胃がんの早期発見と治療」について症例や統計を交えて講演しました。



【看護師復帰支援講習会】

平成26年8月27日から29日の3日間、看護師復帰支援講習会を開催しました。これは、看護師の仕事から離れて知識や技術に不安をお持ちの方を対象に、もう一度看護師としてチャレンジするきっかけのために開催しているものです。講習後は、少し自信を取り戻してくださいましたようです。このような看護師復帰支援事業は今後も定期的に開催する予定です。



【第6回地域医療講演会】

平成26年8月28日、第6回地域医療講演会を開催し200名以上の方の参加をいただきました。「脳卒中」のテーマを題材として、

当院脳卒中センターセンター長の久門 良明先生がユーモアを交えながら、脳卒中の予兆となる症状や脳卒中の予防法、脳卒中を見つけた場合の対処法をわかりやすく講演しました。



【第3回糖尿病教室】

平成26年9月6日、第3回糖尿病教室を開催しました。



今回の糖尿病教室では、食物繊維の働きについて、食べる順番で血糖値の上昇や体脂肪をおさえられることを勉強した後、果物や野菜の食物繊維がたっぷり入ったデザートを、参加者で試食をしました。

【婦人科講演・個別相談会】

平成26年9月16日に婦人科講演会・個別相談会を開催しました。講婦人科医長の小川 晴幾先生が更年期障害も含む婦人科の疾患や検診の大切さを講演しました。参加者からは「しつかり検査を受けることが重要だと思った」「婦人科が身近なものに感じられた、近々検診を受けたい」との言葉が聞かれました。



【第8回医療連携講演会】

平成26年9月18日、地域の医療機関の先生をお招きして「医療連携講演会」を開催しました。脳卒中センターセンター長の久門 良明先生が「頸動脈狭窄症の治療」について、実際の症例を交えながら講演しました。



【緩和ケア病棟ホスピス週間】

世界ホスピス緩和デー(10月11日)に合わせ、10月5日から11日までの1週間、10階緩和ケア病棟において、当院緩和ケア病棟での日常生活や年中行事の写真などを掲示を行い、多くの方にご覧いただくことができました。

【がんサロン】

平成26年10月6日、「がんサロン」を開催しました。がんサロンでは、がんの悩みなどを語り合い、「笑いの体操」と「ヨガの呼吸法」を組み合わせた「笑いヨガ」を参加者全員で楽しんだ後、笑いヨガの先生を交えて懇親をしました。



【第5回在宅医療講演会】

平成26年10月9日、「第5回在宅医療講演会」を開催しました。



宇摩歯科医師会長 坂宗尚先生が、「在宅医療・口腔ケアの大切さ」を講演された後、当院管理栄養士が、嚥下食の紹介や食べる幸せを話しました。食べることは生きることだということを再認識しました。



栄養科コラム

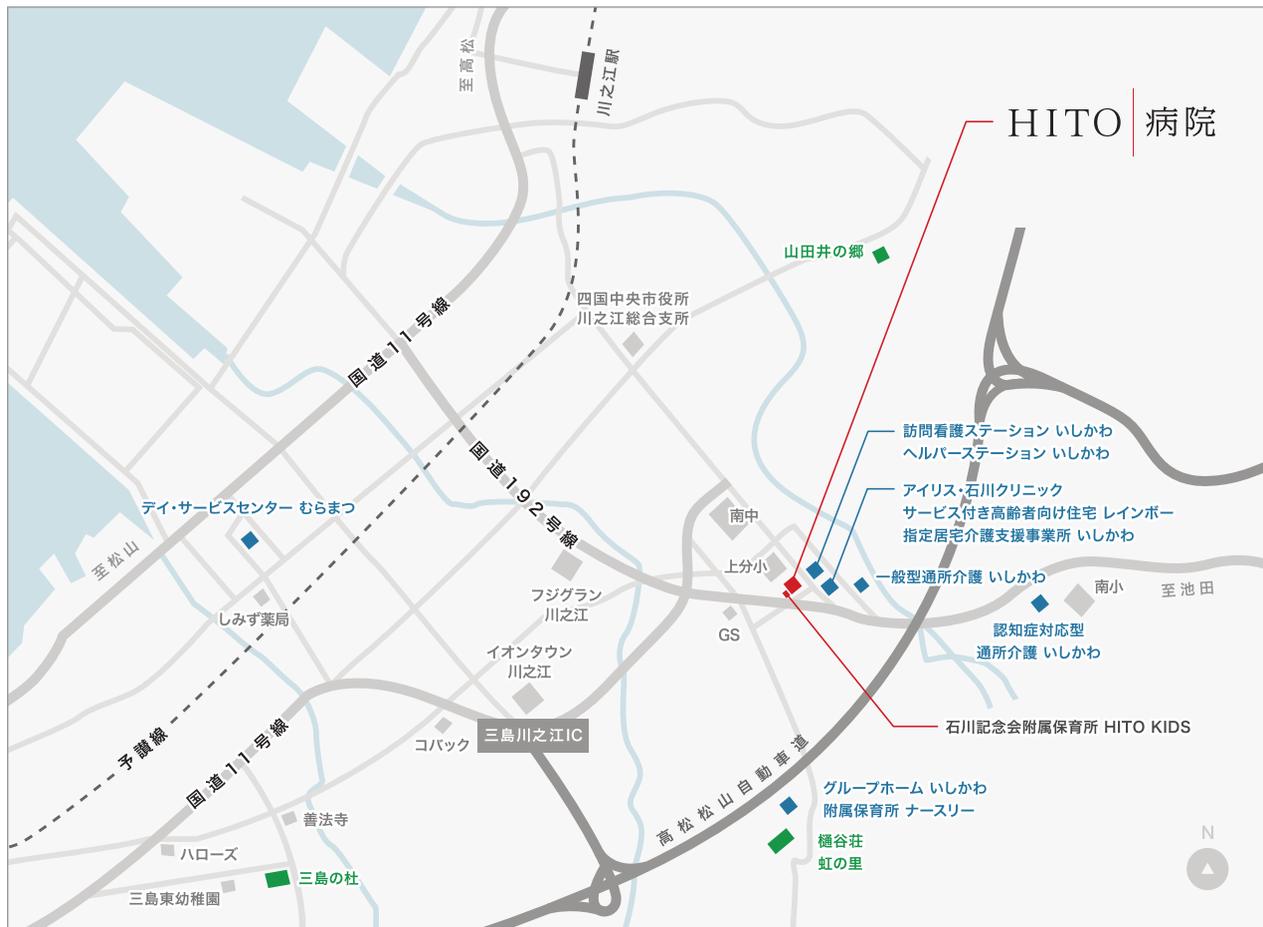
当院の管理栄養士が献立作成した糖尿病予防メニューを、11階レストランにて提供します。

日程	メイン料理	小 鉢	デザート/スープ
11/1(土)	豆腐とひじきの和風ハンバーグ	胡瓜とトマトとくらげの酢の物	具だくさん味噌汁
11/10(月)	豆腐の肉巻きステーキ	海藻サラダ	きのご飯
11/11(火)	八宝菜	小松菜ときのこのナムル	卵とわかめの中華スープ
11/12(水)	鯖の梅煮	青菜とえのきのおかか和え	若竹汁
11/13(木)	ささみのピカタ	イタリアンサラダ	野菜コンソメスープ
11/14(金)	魚のホイル焼き	ブロッコリーのビーナッツ和え	かぼとなめこの味噌汁

集団栄養教室のスケジュール

- 11/1(土) 13:00～15:00  
健康フェスタ/ゴージャスイベント(※申込不要)
  - 12/6(土) 12:30～14:00  
糖尿合併症から体を守ろう/蛋白制限弁当
  - 1/17(土) 12:30～14:00  
低カロリー料理のコツ  
脂質異常症を改善しよう!/低カロリー弁当
- 場所: H I T O 病院3階大会議室 費用: 240円  
3日前までにお申し込みが必要です。  
お申し込み先: 栄養科 TEL (0896) 29-5210

販売時間 11:00～14:00 / 価格 500円(税込)



HITO 病院  
Official Site



Facebook



LINE@



美容外科Be  
Facebook



HITO 病院

社会医療法人石川記念会 HITO 病院  
〒799-0121 愛媛県四国中央市上分町 788 番地 1  
TEL: 0896-58-2222 FAX: 0896-58-2223 URL: hito-medical.jp